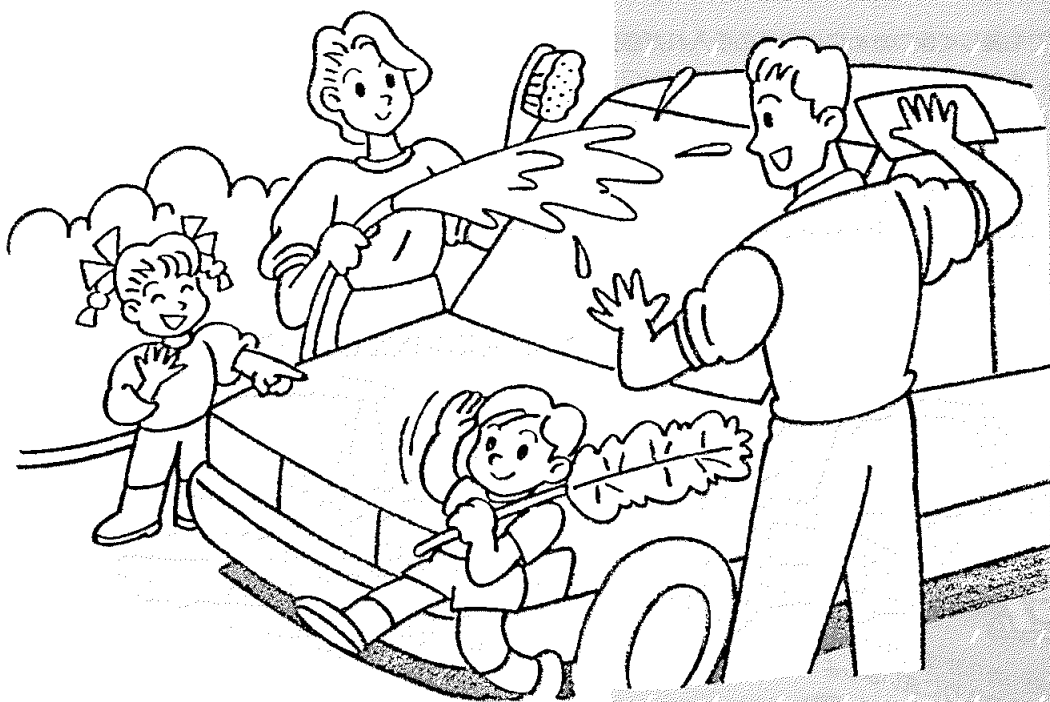


3 手入れ



日頃の手入れ…………… 128

外装の手入れ 129

内装の手入れ 131

エアコンの手入れ 131

消耗品の補給・交換… 132

ウォッシャー液の補給 132

タイヤローテーション(タイヤ位置交換) 132

エンジンオイルについて 133

ヒューズの交換 134

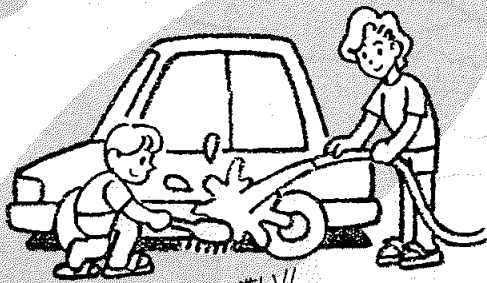
車にいつもいたわりを。

日頃の手入れ

車をいつまでも美しく保つためには日頃の手入れが必要です。

- 月に1度、または水のはじきが悪くなったらワックス掛けを行ってください。
- 塗装のとび石傷やかき傷は腐食の原因となります。
見つけたら早めにトヨタ純正タッチアップペイントまたはタッチアップテープで補修してください。
- 保管・駐車は風通しのよい車庫や屋根のある場所をおすすめします。
- 次のような場合は塗装の劣化や車体・部品の腐食などを早める原因となります。
早めに洗車してください。

海岸地帯



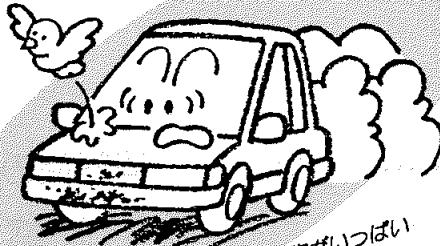
海から帰ったらまず水洗い!!
下まわりも念入りに洗いましょう

凍結防止剤を散布した道路



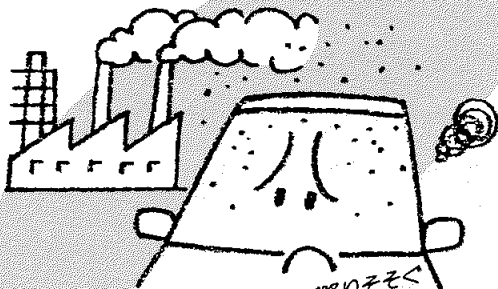
冬の道路は塩だらけ
下まわりも念入りに洗いましょう

コーラタール、樹液、鳥のふん、虫の死がい
などの付着が多い場所



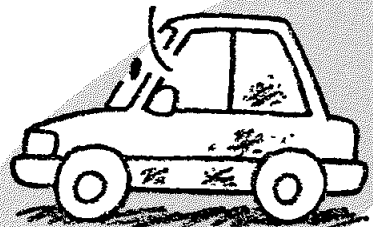
山などでのドライブは付着物がいっぱい

ばい煙、油煙、粉じん、鉄粉、化学物質
などの降下の多い場所



工業地域は見えないよこれが降りそそぐ

ほこり、泥などで著しくよごれたとき



ほおつておかず早めに洗車

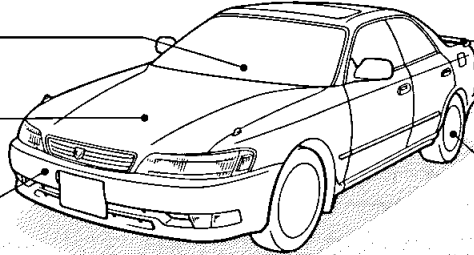
外装の手入れ

ガラス & ミラー

スポイラー★

塗装部分

バンパー



アルミホイール★
樹脂ホイールキャップ★

トヨタ純正お手入れ用品

	車体		足まわり		ガラス ミラー	
	塗装	スポイラー バンパー	アルミ ホイール	樹脂ホイール キャップ		タイヤ
洗車 で 使う 道具	セーム皮 ウォッシングスポンジ 洗車ブラシ(ボア-用)		セーム皮 ウォッシングスポンジ 洗車ブラシ(ボア-用)		洗車ブラシ(下回り用)	クリーニングクロス
ワックス	固形・半ネリ	A1ネオハード シャインコート A1ハード タフ カルナバ A1ハード カルナバ A1ハード トラッド A1ソフト タフ ホワイト※ A1ソフト ホワイト※ A1ソフト メタリック&マイカ		塗装部分と同じワックス	—	
	液体	A1コートセット A1コート ロングライフ A1イージー(リキッド)オールラウンド A1イージー(リキッド)ホワイト※ A1クリーナーワックス (リキッド)オールラウンド A1クリーナーワックス(リキッド)ホワイト※			—	
	ふき取り	ワックスダスタ グローブモップ			—	
クリーナー	カーシャンプー 水アカクリーナー むしクリン		アルミ ホイール クリーナー	—	タイヤクリーナー	ガラスクリーナーリキッド ガラスクリーナーコンパウンド ガラスクリーナーエアゾール むしクリン
ツヤ出し剤	—		ポリテクター (あらゆる樹脂製品に使用可能な 保護ツヤ出し剤)		—	

👉 アドバイス

※のワックスには微粒なコンパウンド(みがき粉)がはいっています。
よごれの落ちはよくなりますが、塗装面の光沢が失われる原因になりますのでよごれがひどく落ちにくい
ときにお使いください。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

無断複製禁止

洗 車

- ① 十分水をかけながら車体、足まわり、下回りの順番に上から下へとよごれを洗い落とします。
- ② よごれのひどいときはカーシャンプーを使用し、水で十分洗い流してください。
鳥のふん、虫の死がいなどは、トヨタ純正むしクリンを使用して除去してください。
- ③ はん点が残らないように水をふき取ります。



注 意

- エンジンルーム内の電気部品に水などをかけないでください。エンジンの始動不良や電気部品の故障などの原因になるおそれがあります。
- 洗車するときは、ワイヤーブラシやたわしなど硬い物を使用しないでください。塗装などに傷がつきます。

自動洗車機を使用するときは

- ミラーは格納し、前側から洗車してください。
- ときによりブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり劣化を早めることがあります。
- スポイラー付き車は洗車機によってはひっかかり、洗車できないことがあります。

高圧洗車機を使用するときは

ノズルの先端をドアガラスなどに近づけすぎないでください。近づけすぎると水圧が高いため、室内に水がはいるおそれがあります。

ワックス

洗車後、車体の温度が冷えているとき(およそ体温以下を目安としてください)に行ってください。
トヨタ純正品(前ページ表参照)の取り扱い説明をよく読んでからお使いください。

ガラス、ミラーの油膜とり

油膜やタバコのヤニなどのガンコなよごれを取り除きたいときは、トヨタ純正品(前ページ表参照)の取り扱い説明をよく読んでからお使いください。



注 意

リヤウィンドウガラスの内側を清掃するときは、ガラスクリーナーなどを使用しないでください。熱線が断線し作動しなくなるおそれがあります。清掃は、熱線にそって、水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいてください。

内装の手入れ



注意

- 室内の清掃などで車内に水をかけないでください。オーディオ類やフロアカーペット下の電気部品などに水がかかると故障の原因になるおそれがあります。
- シートベルトの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤を使用しないでください。また、ベルトを漂白したり、染めたりしないでください。シートベルトの性能が落ち、十分な効果が発揮できなくなるおそれがあります。清掃するときは中性洗剤かぬるま湯を使用し、乾くまでシートベルトを使用しないでください。
- 内装の手入れをするときは、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないでください。変色やしみの原因になります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがありますのでよく確認のうえ使用してください。
- 液体芳香剤をこぼさないように注意してください。含まれる成分によっては変色やしみ、塗装はがれの原因になるおそれがあります。

- 1 カークリーナーなどでほこりを取り除きます。
- 2 水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふきとります。よごれの落ちにくい場合は、下表のトヨタ純正品の取り扱い説明をよく読んでからお使いください。

	布地部分	樹脂部分	ビニールレザー
ワックス	—	—	レザーワックス
クリーナー	シートクリーナー	—	レザークリーナー
ツヤ出し剤	—	ポリテクター	ポリテクター

本皮革シート★のよごれを取るには

- ①ウール用中性洗剤の5%水溶液をガーゼなどのやわらかい布に含ませ、軽くふき取ります。
- ②真水をひたした布を固くしぼり、洗剤をふき取ります。
- ③乾いたやわらかい布で水分を取り、風通しのよい日陰で乾燥させます。



アドバイス

よごれが落ちにくいときはトヨタ純正高級本革シート・ケアセットをお使いください。

エアコンの手入れ

寒冷地仕様車

エアフィルターがはいつています。

快適にお使いいただくため定期的な清掃、交換をおすすめします。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

〈清掃、交換の目安〉

	清 掃	交 換
寒冷地、 粉じんの多い地区	走行 5,000 kmごと (ただし、6か月をこえないこと)	車検ごと
上記以外の地区	走行 10,000 kmごと (ただし、1年をこえないこと)	車検ごと



アドバイス

エアコンの風量が著しく減少したときはフィルターの目詰まりが考えられます。清掃または交換してください。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

消耗品はトヨタ純正品を。

消耗品の補給・交換

ウォッシャー液の補給

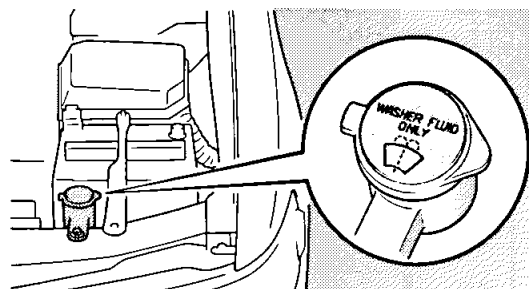
ウォッシャー液が不足しているときは、ウォッシャータンクのキャップをはずし、トヨタ純正ウィンドウォッシャー液を下表にしたがって補給します。

使用地域・季節	希釈割合	凍結温度
通常	原液1に水3	-7°C
温暖地の冬期	原液1に水2	-10°C
寒冷地の冬期	原液1に水1	-20°C
極寒地の冬期	原液のまま	-50°C以下

ウォッシャータンク

エンジン左側前部(1G-FE搭載車はエンジン左側後部*)にあります。

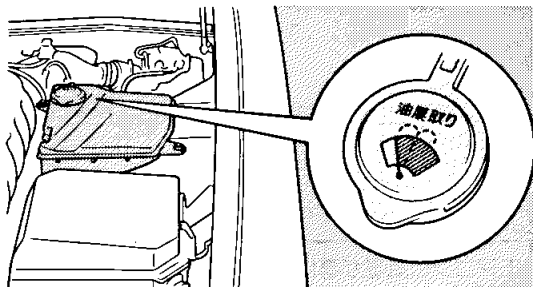
※寒冷地仕様車、スノーバージョン車、鹿児島仕様車、リヤワイパー付き車、ABS装着車を除く



フロントワイパーとリヤワイパーのウォッシャータンクは兼用しています。

油膜取り用タンク★

エンジン左側後部にあります。



★印はグレード等により装着の有無が異なります。



注意

- エンジンが熱いときやエンジンがかかっているときはウォッシャー液を補給しないでください。ウォッシャー液がエンジンなどにかかると、出火するおそれがあり危険です。
- ウォッシャー液のかわりに石けん水などをいれないでください。塗装のしみになるおそれがあります。



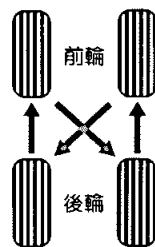
アドバイス

油膜取り液は、トヨタ純正の2タンク専用油膜取り液をおすすめします。

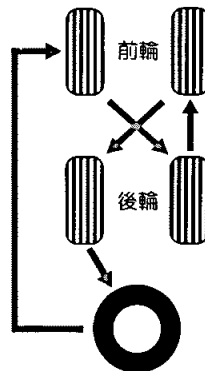
タイヤローテーション(タイヤ位置交換)

タイヤの偏摩耗を防ぎ寿命をのばすために、10,000 km(フルタイム4WD車は5,000 km)ごとに位置を交換します。

〈スペアタイヤが
応急用タイヤの場合〉



〈スペアタイヤが
標準タイヤの場合〉



アドバイス

搭載されているジャッキを使用してタイヤ位置交換を行うときは、スペアタイヤを使用して1輪ずつ交換してください。ジャッキアップのしかたについては155ページを参照してください。



注意

225/50 R 16 タイヤ装着車(後輪)は、前後輪でサイズが異なります。(前輪: 205/55 R 16、後輪: 225/50 R 16) また回転方向が指定されているため左右のタイヤも異なります。このため4本のタイヤは専用になっていますのでタイヤ位置交換はできません。

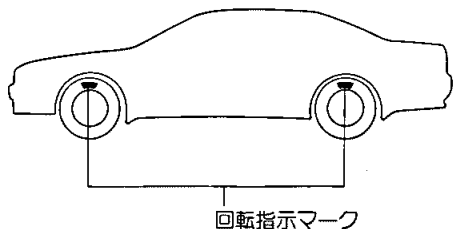
新品と交換するときは

トヨタ販売店にご相談ください。
異なった種類のタイヤを混ぜて使用したり、指定サイズ以外のタイヤを使用することは、安全走行に悪影響をおよぼすことがあります。

■タイヤ回転指示マーク

205/55 R 16、225/50 R 16 タイヤ装着車

タイヤの性能上、回転方向が指定されています。タイヤ側面の回転指示マークが下図のように車両前方へ向くように取りつけてください。



メーカー名	回転指示マーク
ブリヂストン	
ヨコハマ	



アドバイス

スペアタイヤを取りつけるとタイヤの回転指示マークが車両前方に向かないことがあります。一般走行上支障ありませんが、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。

エンジンオイルについて

エンジンオイルの量をときどき点検してください。なお、高速走行(80 km/h以上での走行)を行う前には、必ず点検してください。(点検方法については「メンテナンスノート」を参照してください。)



アドバイス

エンジンオイルはエンジン内部の潤滑、冷却などをする働きがあります。通常の運転をしていてもピストンおよび吸・排気バルブを潤滑しているオイルの一部が燃焼室などで燃えるため、オイル量は走行とともに減少します。また、減少する量は走行条件などにより異なります。

ヒューズの交換

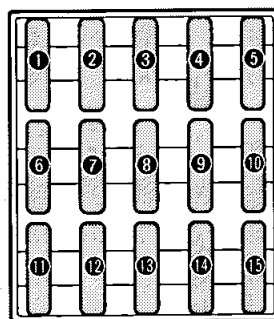
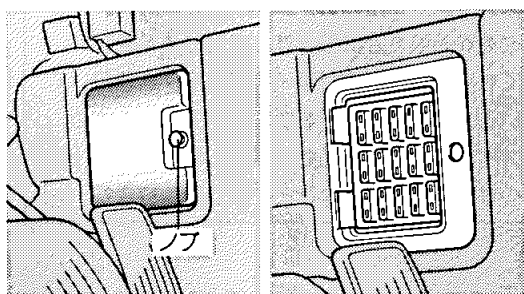
ランプがつかないときや電気系統の装置が働かないときは、ヒューズ切れやランプ自体の球切れが考えられます。

1 エンジンスイッチをLOCKの位置にします。

2 故障の状況から点検すべきヒューズを下表で確認し、ヒューズはずしでヒューズを引き抜き、ヒューズが切れていないかを点検します。

- ヒューズはずしはエンジンルーム内ヒューズボックスのカバー裏側についています。
- ヒューズの一部は車の仕様によりない場合があります。
- 各ヒューズの受け持つ装置は主なものについて記載しています。

■運転席足元ヒューズボックス



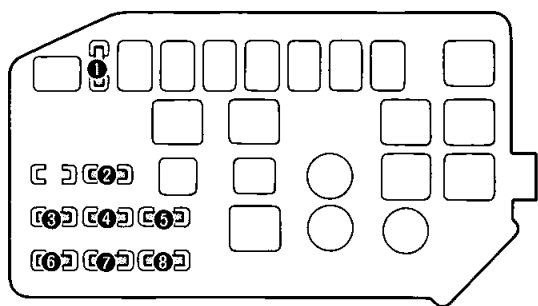
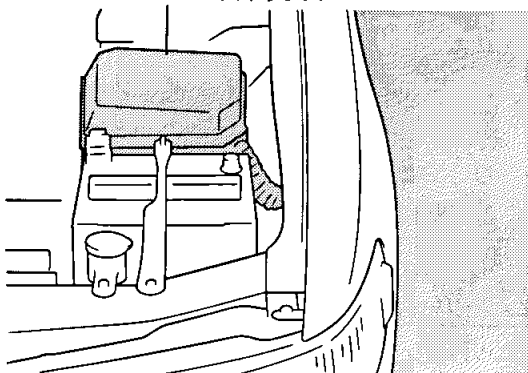
ノブを引いてカバーを取りはずします。

①	ストップランプ	15 A	制動灯
②	ワイパー	20 A	ワイパー&ウォッシャー スイッチ
③	ラジオ2	7.5 A	オーディオ、電動リモコンミラー
④	フォグランプ	15 A	フォグランプ
⑤	ライター	15 A	シガレットライター、時計
⑥	イグニション2	7.5 A	充電警告灯
⑦	ターン	10 A	方向指示灯、 コーナリングランプ
⑧	エレクトロニクスB	7.5 A	ABS、トラクション コントロール、クルーズコン トロール

⑨	イグニション1	7.5 A	EFI
⑩	エンジン	7.5 A	オルタネーター
⑪	テールランプ	10 A	尾灯、番号灯、車幅灯
⑫	パネルランプ	7.5 A	メーター照明、スイッチ照明、 オーディオ照明
⑬	エレクトロニクス IG	15 A	ABS、トラクション コントロール、クルーズコン トロール、フログレッシブ パワーステアリング
⑭	メータ	7.5 A	計器類
⑮	ヒータ	10 A	オートエアコン

■エンジンルーム内ヒューズボックス

ヒューズボックス



①	オルタセンシング	7.5 A	オルタネーター
②	ヘッドランプ (左)	15 A	ヘッドランプ(左側)
③	ルームランプ	15 A	室内灯、時計
④	EFI (ガソリン車)	20 A*	EFIコンピューター
	ECD (ディーゼル車)	15 A	ECDコンピューター
⑤	ホーン	10 A	警告器
⑥	ヘッドランプ (右)	15 A	ヘッドランプ(右側)
⑦	ラジオ	25 A	オーディオ
⑧	ハザード	15 A	非常点滅灯

*1JZ-GE、1G-FE、4S-FE搭載車は15 A

③ 下表のヒューズの状態にしたがって処置してください。

ヒューズの状態	処置方法
	<p>ヒューズ切れです。 同容量の予備ヒューズと交換してください。</p> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ヒューズのかわりに針金、銀紙などを使用しないでください。配線が過熱・焼損し火災になるおそれがあり危険です。 ●取り替えてもまたヒューズが切れる場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。
	<p>ヒューズの他に原因が考えられます。 ランプがつかないときはランプ自体の球切れを確認してください。* それ以外の電気系統の装置が働かないときは、トヨタ販売店にご相談ください。</p>

*電球の交換は次ページの規格にあわせて同容量のものにしてください。

■フロント側電球



注意

ハロゲン電球はガラス球内部の圧力が高いため、落としたり、物をぶつけたり、傷をつけたりすると破損してガラスが飛び散る場合がありますので十分注意して取り扱ってください。また、素手で触れずにきれいな手袋を着用してください。

●ヘッドランプ

ハロゲン…………… 60 / 55 W

●フォグランプ

ハロゲン/車幅灯 …… 55 / 5 W

●コーナリングランプ …… 35 W

●フロント方向指示燈(兼非常点滅燈) …… 21 W

●サイド方向指示燈(兼非常点滅燈)…………… 5 W

■リヤ側電球

●方向指示燈(兼非常点滅燈) …… 21 W

●制動燈/尾燈 …… 21 / 5 W

●後退燈 …… 21 W

●番号燈…………… 5 W

■室内電球

●室内燈 …… 10 W

●スポットライト

ムーンルーフなし…………… 8 W

ムーンルーフあり …… 10 W

●トランク燈…………… 3.8 W

●グローブボックスランプ…………… 1.2 W

●ハイマウントストップランプ★ …… 18 W



注意

- 同じW数の電球以外は使用しないでください。過熱などにより故障の原因になります。
- 電球および電球固定具の取り付けは確実に行ってください。取り付けが不完全な場合、水入りなどによる故障およびレンズ内面の曇りにつながるおそれがあります。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。



アドバイス

ヘッドランプ・制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇ると同様の現象であり、機能上の問題はありません。

ただし、レンズ内面に大粒の水滴がついているときやランプ内部に水がたまっているときは、トヨタ販売店にご相談ください。